

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校複数学年 教科 など その他

FormsとPower Automateで意見・考えを可視化!

使用するアプリケーション等
・ Microsoft Forms、
Teams、Excel、Power
Automate等

DXする題材 ※様々な教科・単元で活用可能

DXのねらい 意見や考え方の可視化、データ化

ICTを活用することで できること

- ・ 様々な教科・授業場面において、自分の考えや意見を決まった体裁で簡単に投稿できる。
- ・ 誰がどのような考えを持っているのかを共有できる。
- ・ 意見をデータで集約することもできる。
- ・ アンケートの集計に応用することもできる。
- ・ 校務での活用も可能

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 自力解決の場面で・・・

- ノートやプリントに書いた考えを、教師が机間指導等で把握していた。
- 発表させたい児童を選んだ後、ホワイトボードや大きい用紙に書かせて、黒板に掲示していた。

2 学級会の準備、当日で・・・

- 学級会ノートに意見や考えを書かせ、教師（または児童）が手作業で集約していた。
- 集約した意見を共有する際、手書きで起こしたものを掲示していた。
- 誰がどの意見や立場なのかは見えづらかった。

3 児童の実態把握、または振り返りの場面で・・・

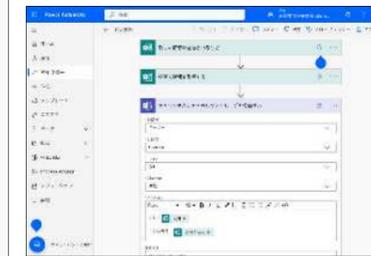
- レディネスや本時の振り返りなどを、用紙を配付して記入していた。
- レディネスの場合、採点して集計を行っていた。
- 振り返りのワークシートは、書かせるたびに何度も回収したり配付したりしていた。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 自力解決の場面で・・・

- フォームを用いてTeamsのチャンネルへの投稿を自動化
→ 投稿の内容の体裁が整い、見やすくなった。
- 自分の投稿に返信でノートやワークシートの画像を投稿
- 画像を大型テレビで映し、発表させる。
→ 発表する児童に二度書かせる必要がなくなり、時間短縮に。



氏名	回答
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...
11	...
12	...
13	...
14	...
15	...
16	...
17	...
18	...
19	...
20	...
21	...
22	...
23	...
24	...
25	...
26	...
27	...
28	...
29	...
30	...

2 学級会の準備、当日で・・・

- フォームを用いて意見を収集
- Excelと連携し、データとして整理して、Teamsで共有
→ 学級会当日は、議論からスタートできる
→ 多数派・少数派が一目で分かる

3 児童の実態把握、または振り返りの場面で・・・

- フォームを用いてレディネステストを課したり、授業の振り返りを行う
- 採点結果や振り返りの内容をExcelで集計
→ Formsのクイズ機能は自動採点されるので、レディネステストの採点の時間が短縮された。
→ 振り返りの内容を一覧にしたり、データ化して活用できた。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ◎ 学習を深め合う場面にたくさん時間を割くことができるようになった。
- ◎ 投稿された内容や画像を評価材料として活用することができた。
- ◎ 紙で作成しない分、ペーパーレス化が実現した。
- △ 自動化ツールの使い方に慣れが必要。
- △ データの整理や活用にExcelの知識が不可欠なので、誰もが使えるようになるには研修に時間をかける必要がある。